

第2回震災伝承検討会議 概要

日 時：平成28年9月28日（水） 午後6時30分～午後8時30分

会 場：石巻市役所6階 第3・4議会委員会室

概 要：

- (1) 第1回「震災伝承検討会議」の振り返りについて
 - ・第1回「震災伝承検討会議」で出された意見等について確認した。
- (2) 現地視察結果について
 - ・旧門脇小学校校舎と大川小学校旧校舎の現地視察の結果、新潟中越および広島・神戸の現地視察の結果を共有した。
- (3) 石巻市における震災伝承へ取り組みについて
 - ・石巻市における震災伝承の取り組みについて情報を共有した。
- (4) 会議の進め方とスケジュールについて
 - ・今後の会議の進め方とスケジュールを確認・共有した。
- (5) 今後の震災伝承等に関する協議について
 - ・協議テーマ案「震災伝承の理念の考え方」、「施設のあり方」について意見を交換した。

会議での主な意見

- ・次の災害で亡くなる方を一人でも減らせるように伝承する。
- ・起きた悲劇を伝えて二度と同じ悲しみを生まないようにする。自然災害への対策、起きたことの恐ろしさを体で感じられるように、残していくべき。
- ・後世へ、全国へ、全世界へ伝えていくべき。
- ・孫子の代まで伝えるのが一番の願い。受け止める人があつての伝承である。
- ・世界的な規模で、学術的な成果も含め、世界に発信したい。
- ・地域ごとに被害が違う。地域ごとに伝えていく役割を分担していければ良いと思う。
- ・学校教育のなかで震災のことをどう伝えるかは大きな課題。
- ・教育する先生方への教育も考える必要があると思う。
- ・とんでもないことが起きたこと、大変なことがいっぱいあつたことをそのまま伝えたい。
- ・どう相手に受け取ってもらうか、そのための多様なコミュニケーションが生まれると良い。
- ・最大の被災地の使命として、震災の全体像を伝えていくような役割が持てればと思う。
- ・「命の大切さ」「命を守るためにどうすれば良いか」といったことを学んでもらいたい。
- ・言葉で伝えるだけでは限度がある。目から訴えるもの、震災遺構が大事。
- ・施設と語り継ぐ人の活動とが連動しながら伝えていく必要がある。
- ・今ある施設で今できることをきちんとやっていくということも必要だ。
- ・家族連れ、子供など様々なかたちに応じて、学びたいときに学べるのが大事だと思う。
- ・若い人が積極的に語り交流できる場があると良い。
- ・静かに祈りたい人と外からの来訪者の求めることを両立させるための方法を、この会議で話していけるのではと思う。
- ・地域で発生した取り組みを大切にして、地域に根差した活動を数多く続けていくための、人が介在するしくみづくりが大切。
- ・地域の住民が代々活動に携わりながら、さらに次の世代に伝えていくような「地域に根差した取り組み」を行政がバックアップするしくみを検討してほしい。
- ・地域の交流の場であり震災伝承の場となるような場所をつくれると良い。
- ・各地域に地域の人が日常的に集まり、訪れた人たちとも交流ができるような拠点があれば良い。